

淀川水系の流域治水を考える

〜どうすれば命も環境も守れるのか〜

日時 2021年3月19日（金）15:00～17:00

場所 オンライン（Zoom 使用）

要・事前申し込み（3月18日午後4時まで、先着100名）

入場無料

一般歓迎

事前申込制

趣旨

気候変動の影響によって豪雨災害が頻発し、ますます激甚化しています。このような背景のもと、現在、ダム依存から脱却するべく、地域全体で水害対策に取り組む「流域治水関連法案」が国会で審議されています。その一方、大戸川ダム（大津市）の整備を含む「淀川水系河川整備計画」の変更原案が提示されています。生態系に多大な影響を与えるが人命確保の点から必要とされるダム建設と、自然環境には優しいが人命確保の点で疑義が出される流域治水とのあいだの矛盾を、私たちはどう乗り越えればよいのでしょうか？

大津市と京都市伏見区にキャンパスを有する龍谷大学は、里山学研究中心を設立し、「琵琶湖を中心とする自然共生型社会の実現」について共同研究を進めてきました。今回、その研究成果の発信の一環として、未来の私たちのあり方を見据え、淀川水系の流域治水を市民や関係者とともに考える公開研究会を開催いたします。ぜひご参集ください。

プログラム

- 15:00 あいさつ・趣旨説明
- 15:10 発表①
「淀川と流域三大支川の水理、およびその治水の行方」
中川 晃成氏（龍谷大学先端理工学部講師）
- 15:40 発表②
「流域治水の展望と課題」
瀧 健太郎氏（滋賀県立大学環境科学部准教授）
- 16:10 ディスカッション／質疑応答
司会 伊達 浩憲氏（龍谷大学経済学部教授）
コメンテータ 秋山 道雄氏（滋賀県立大学名誉教授）
- 17:00 終了（予定）

申し込み

以下のメールアドレスに、件名を「参加申し込み」として、本文に氏名と所属、返信用のメールアドレスを記入してお送りください。後ほど Zoom の会議室へのリンクをメールでお送りします。

申し込み先：satoyamagaku@ad.ryukoku.ac.jp（里山学研究中心事務局）

お問い合わせ

森のある大学
龍谷大学里山学研究中心 〒612-8577 京都市伏見区深草塚本町 67
https://satoyama.kenkyu.ryukoku.ac.jp
TEL: 075-645-2154